

令和 4 年度芽室町議会議員研修企画案（自治体 DX）

- 日 程 令和 4 年 5 月 20 日（金）15:00-17:00（講演・質疑含む）
- 場 所 芽室町庁舎（3 階議場及び傍聴ラウンジ）
- 主 催 芽室町議会／芽室町
- 講 師 わかおたつや
若生幸也氏（株式会社日本政策総研副理事長・研究主幹）
＜（兼）北海道大学公共政策大学院研究員／（兼）芽室町議会サポーター＞
- 演 題 「自治体 DX から考える行政経営と議会改革」
- 対 象 芽室町議会議員、町職員（管理職等）、議会モニター、
議会改革諮問会議委員、一般町民（10 名限定） 合計 70 名程度

■目的と概要

近年、全国的にデジタル活用による DX（デジタル・トランスフォーメーション）が急速に進展している。この機に、自治体及び議会として、この定義と本質を学び、時代に即した今後の行政経営と議会改革の目指すべき姿を明確にする。

■予算額 15 万円（旅費＋報償）

■特記事項

- ① 講師は来庁による研修となるため、参加者は現場集合となる。
- ② ネット配信の可否等について、講師と協議中（5 月 2 日時点）
- ③ 議場は議員及び町職員が着席、傍聴席はモニター、諮問会議委員、一般町民が着席。傍聴ラウンジは町職員、一般町民が聴講。
- ④ 講師は役場に当日 14 時頃着。講演終了後、移動（帯広 OR 札幌）

若生幸也(わかおたつや)

【所属・兼務】

株式会社日本政策総研副理事長・研究主幹
芽室町議会サポーター
北海道大学公共政策大学院研究員
東京大学先端科学技術研究センター客員研究員



【出身地】

岐阜県関市

【経歴】

- ・2022年4月 (株)日本政策総研入社
- ・2020年4月 (株)富士通総研公共政策研究センター長(兼務)
- ・2018年9月 東京大学先端科学技術研究センター客員研究員(兼務)
- ・2014年9月 (株)富士通総研経済研究所(兼務)
- ・2013年4月 北海道大学公共政策大学院研究員(兼務)
- ・2013年4月 (株)富士通総研公共事業部復職(現:行政経営グループ)
- ・2011年8月 北海道大学公共政策大学院専任講師出向
- ・2008年4月 (株)富士通総研入社(公共事業部配属(現:行政経営グループ))
- ・2008年3月 東北大学大学院法学研究科公共法政策専攻修了(東北大学総長賞)
- ・2006年3月 金沢大学法学部公共システム学科卒業

【役職】

(地方自治体・議会)

- ・2014年7月 - 現在 富山市まちづくりアドバイザー
 - ・2014年4月 - 現在 芽室町議会サポーター
 - ・2012年9月 - 現在 関市まちづくり市民会議政策アドバイザー
 - ・2021年7月 - 2022年3月 中野区構造改革推進アドバイザー会議座長
 - ・2018年8月 - 2020年3月 中野区外部評価委員会副委員長
 - ・2016年10月 - 2017年3月 中野区グローバル戦略推進協議会ワーキンググループ委員
 - ・2012年12月 - 2013年3月 富山市都市計画道路富山駅西線における歩行者と自転車利用者に優しい歩道の整備方策に関する住民ワークショップファシリテーター
- (経済団体)
- ・2019年11月 - 現在 日本商工会議所第31期規制・制度改革専門委員
- (大学・高校など教育機関)

- ・2018年9月 - 現在 東京大学先端科学技術研究センター客員研究員
- ・2013年4月 - 現在 北海道大学公共政策大学院研究員
- ・2020年4月 - 現在 岐阜県立関高等学校FRHアドバイザー
- ・2014年5月 - 2020年3月 岐阜県立関高等学校スーパーグローバルハイスクールアドバイザー

【著書】

- ・若生幸也『指定管理者制度 問題解決ハンドブック』(東洋経済新報社、2019年)等。
- ・宮脇淳・佐々木央・東宣行・若生幸也『自治体経営リスクと政策再生』(東洋経済新報社、2017年)
- ・宮脇淳・若生幸也『地域を創る！「政策思考力」入門編』(ぎょうせい、2016年)

【論考】

- ・若生幸也「地方自治体における外部人材活用の在り方」『地方財務(2022年1月号)』2022年1月、ぎょうせい。
- ・若生幸也「進む！自治体デジタルトランスフォーメーション(DX)」『例規の架け橋(令和3年春号)』2021年5月、ぎょうせい。
- ・若生幸也「外部委託マネジメント組織の在り方—最高外部委託責任者(COO)の仕組み—」『地方財務(2020年6月号)』2020年6月、ぎょうせい。
- ・若生幸也「規制改革推進体制の再構築を7月末に迎える設置期限」『Kyodo Weekly』2019年7月、共同通信社。
- ・若生幸也「改めて未来を描き『動く』仕組みを設計する」『地方財務(2019年1月号)』2019年1月、ぎょうせい。
- ・若生幸也「地方自治体における規制改革の要点—地方版規制改革会議を事例に」『地方財務(2018年12月号)』2018年12月、ぎょうせい。
- ・若生幸也「広域連携手法のメリット・デメリットと活用イメージ」『地方財務(2018年8月号)』2018年8月、ぎょうせい。
- ・若生幸也「広域連携手法のメリット・デメリットとクラウド自治体モデルの構想」『政策研究(2018年7月号)』、2018年7月、新・地方自治フォーラム。
- ・若生幸也「地方自治体を取り巻くリスク事項とその要素」『地方財務(2018年7月号)』2018年7月、ぎょうせい。
- ・若生幸也「エビデンスに基づく政策形成 起点となる自治体政策評価のあり方」『地方行政』2018年4月、時事通信社。
- ・若生幸也「国家戦略特区制度の評価と今後の展望」『不動産経済 FAX-LINE(1138)』2017年9月、不動産経済研究所。
- ・若生幸也「国家戦略特区とは何か 課題残る規制改革の全国展開」『Kyodo Weekly』2017年8月、共同通信社。

- ・若生幸也「日本版レギュラトリー・サンドボックスの導入に向けた一考察(1)―利用者保護及びモニタリングの視点から―」『政策研究(2017年5月号)』2017年5月、新・地方自治フォーラム。
- ・若生幸也「国家戦略特区の規制改革強化に向けたプロセスの在り方―英国のより良い規制に向けた取り組み事例を参考に」『地方行政(2016年11月17日号・第10682号)』2016年11月、時事通信社。
- ・若生幸也「問われるガバナンスの確保 地方自治体における民間委託の再構築」『地方財務(2016年4月号)』2016年4月、ぎょうせい。

【講演・研修(議会関係のみ抜粋)】

- ・若生幸也「議会デジタル化のあるべき姿の実現に向けて」北佐久郡議会(軽井沢町議会・御代田町議会・立科町議会)議員研修会、2022年3月18日
- ・若生幸也「自治体DXのあるべき姿の実現に向けて」地方議会総合研究所「議員・職員のための自治体DXの実現～議会ICT等の活用～」、2022年2月3日
- ・若生幸也「議会ICT化のあるべき姿の実現に向けて」地方議会総合研究所「議員・職員のための自治体DXの実現～議会ICT等の活用～」、2022年2月3日
- ・若生幸也「議会ICT化のあるべき姿の実現に向けて」敦賀市議会議員研修会、2022年1月27日
- ・若生幸也「地方自治体におけるデジタル化の進め方」呉市議会研修会、2021年1月15日
- ・若生幸也「地方議会におけるICT活用のあり方」鳥取県4市議会議員合同研修会、2021年1月12日
- ・若生幸也「議会ICT化による開かれた議会づくりのあり方」大野城市議会議員研修会、2016年3月17日
- ・若生幸也「議会のICT化とデータに基づく政策思考の深化」芽室町議会議員研修会、2015年10月30日
- ・若生幸也「ICTを活用した開かれた議会づくりのあり方」鎌倉市議会議員・事務局職員研修会、2013年11月21日
- ・若生幸也「芽室町議会ICT化に向けた試行プログラムについて」芽室町議会議員会研修会、2013年3月15日
- ・若生幸也「議会のICT化戦略を考える」芽室町議会議員研修会、2012年12月6日